

新潟県津南町のイベントやツアー、活動など旬な観光トピックスを配信します。



大根つぐら

今月の注目トピックス

1 大根つぐらに秘められた雪国の知恵 晩秋の風物詩に制作依頼が急増

場所：津南各地

白菜や人参、春菊などの秋野菜収穫が最盛期迎える中、この時期、津南の家屋の脇にワラでできた小さな小屋のような不思議なモノが登場します。昨今は作り手が少なくなりつつある「大根つぐら」とよばれるこの造形美には雪国の知恵が詰まっています。今年はなぜか、この大根つぐらが人気になっています。

2 「何もしない」ができる！ 自分のペースで 楽しめる、新しいタイプの自由な旅の提案

期日：12月5～6日（土、日）

行先：秋山郷

募集・告知：トリッピーズ

来るべき豪雪に備える秋山郷で、イベント自由参加の新しいタイプの旅行が行われます。一泊二日の旅程の中で、イベントに参加するもよし、ひたすらのんびりするもよし、自由に散策するもよしの自由なプラン。日々の疲れを癒したい方も、雪国文化を知りたい知的な好奇心が旺盛な方も楽しめる自由旅行です。

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp

1 大根つぐらに秘められた雪国の知恵 晩秋の風物詩に制作依頼が急増

初雪が降り始める間際の津南は、雪囲いなど冬支度に余念がありません。降雪期間の保存食となる白菜やネギ、さつまいもなどの秋野菜は冷蔵庫や流通の普及した現在でも、各家で大量に保存されます。収穫後、柿は吊るされたり、野沢菜は漬けられたりと、それぞれにあった方法で保存されます。凍みても暖かくて乾燥してもいけない大根は、藁（わら）のできた小さな小屋「大根つぐら」の中に入れられ、すっぽりと雪の下となり、少しづつ掘り出されながら食されます。雪の中は氷点下にならず湿度が高いことを利用した雪国の知恵です。昔は各家で作られていましたが、近年は藁で作られる大根つぐらもだんだん少なくなってきました。高齢者が細々とその製作技術を伝えています。今年少し状況が違うようです。伝統的つぐらを作る涌井九郎さんは「今年は4つも大根つぐらを作って欲しいと頼まれたよ。」と笑います。その独特の造形美と雪国文化が見直されつつあるようです。



場所：津南各地

2 「何もしない」ができる！自分のペースで 楽しめる、新しいタイプの自由な旅の提案

世界一の豪雪地を謳う雪国観光圏（3県7市町村）は、昔ながらの生活様式が色濃く残る苗場山麓ジオパークエリアを内包しており、エリアをめぐる新しい旅を企画しました。

旅の目的は雪国文化を知ってもらうことですが、企画にあたりペルソナ（顧客想定）を旅好きな40代独身女性に設定。その中で知的好奇心旺盛で、のんびりもしたいというニーズを見出しました。

1泊2日のツアー形式で、旅程の中には蕎麦作りやしめ縄づくりなど雪国文化がさりげなく体験できるようになっていますが、あくまでも自分のペースで参加を決められます。

ツアーの中で様々な出会いが仕組まれています。演出する宿となる「のよさの里」のご主人、阿部高広さんも面白く演出したいと意気込んでいます。



期日：12月5～6日（土、日）
行先：秋山郷
募集・告知：トリッピーズ

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp